

● 日本及びその周辺での主な地震活動

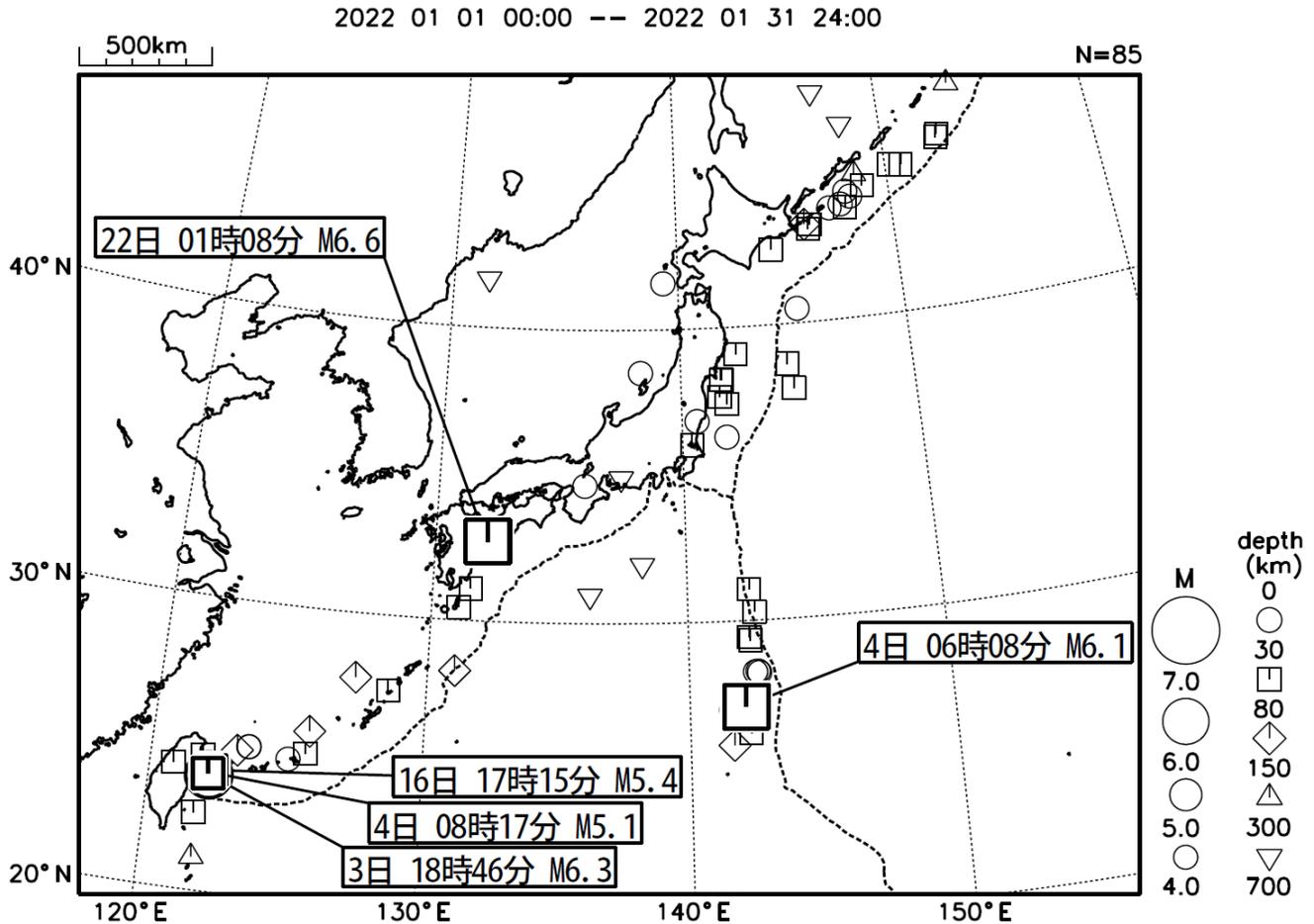


図1 令和4年1月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

4日06時08分に父島近海の深さ63km（CMT解による）でM6.1の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、東京都小笠原村母島で震度5強を観測したほか、小笠原村父島で震度4を観測した。また、小笠原で長周期地震動階級1を観測した。

22日01時08分に日向灘の深さ45kmでM6.6の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、大分県と宮崎県で震度5強を観測したほか、九州地方から中部地方にかけてと伊豆諸島の一部で震度5弱～1を観測した。また、熊本県、大分県及び宮崎県で長周期地震動階級2を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけての一部で長周期地震動階級1を観測した。この地震により、負傷者13人、住家一部破損1棟の被害が生じた（1月31日現在、総務省消防庁による）。

令和4年（2022年）1月に日本国内で震度4以上を観測した地震は2回（2021年12月は9回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は85回（2021年12月は149回）であった（図1）。

1月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。1月中に震度5弱以上を観測した地震は2回で、津波を観測した地震はなかった（2021年12月は震度5弱以上を観測した地震は3回で、津波を観測した地震はなかった）。

令和4年1月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和4年1月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注1) (注2) (注3)

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw <small>(注4)</small>	M H S T <small>(注5)</small>	最大震度・被害状況等 <small>(注6)</small>	掲載 ページ
1	1 3 18 46	台湾付近	6.3	6.2	M . . .	2：沖縄県 石垣市新栄町* 与那国町祖納 など1県5地点	15
2	1 4 6 8	父島近海	6.1	5.8	M . S .	5強：東京都 小笠原村母島 長周期地震動階級1を観測 緊急地震速報（警報）を発表	4、17
3	1 22 1 8	日向灘	6.6	6.4	M H S .	5強：大分県 大分市新春日町* 佐伯市蒲江蒲江浦 など2県8地点 長周期地震動階級2を観測 緊急地震速報（警報）を発表 被害：負傷者13人、住家一部破損1棟（1月31日現在）	5、 12～13
4		石川県能登地方の 地震活動 <small>(注7)</small>			1月中に震度1以上を観測する地震が6回（震度2：3回、 震度1：3回）発生し、このうち最大規模の地震は、2日03 時49分及び14日13時11分に発生したM3.6の地震（ともに最大 震度2）	9

- (注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注4) Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。
- (注5) MHS Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注6) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- (注7) 8日06時58分に発生した能登半島沖の地震を含む。

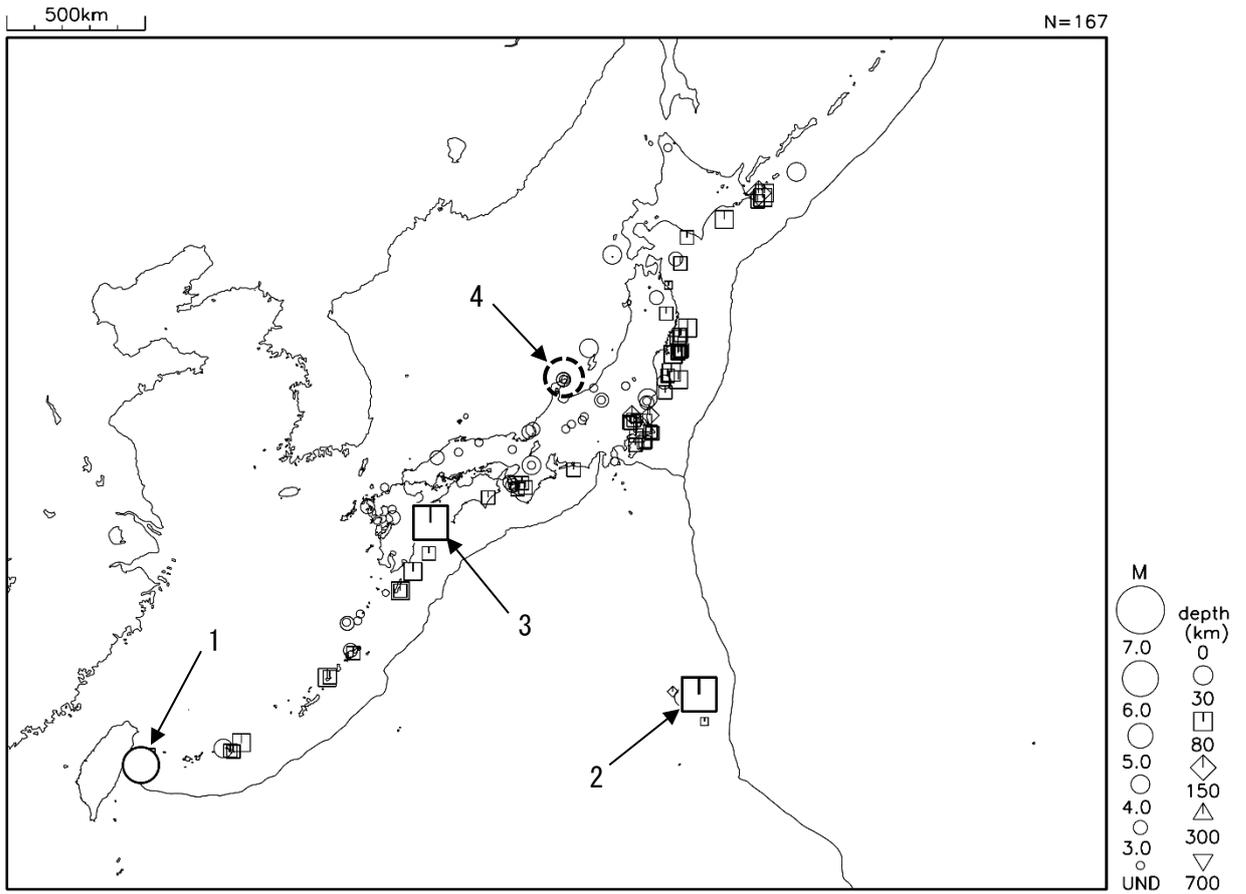


図2 令和4年1月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

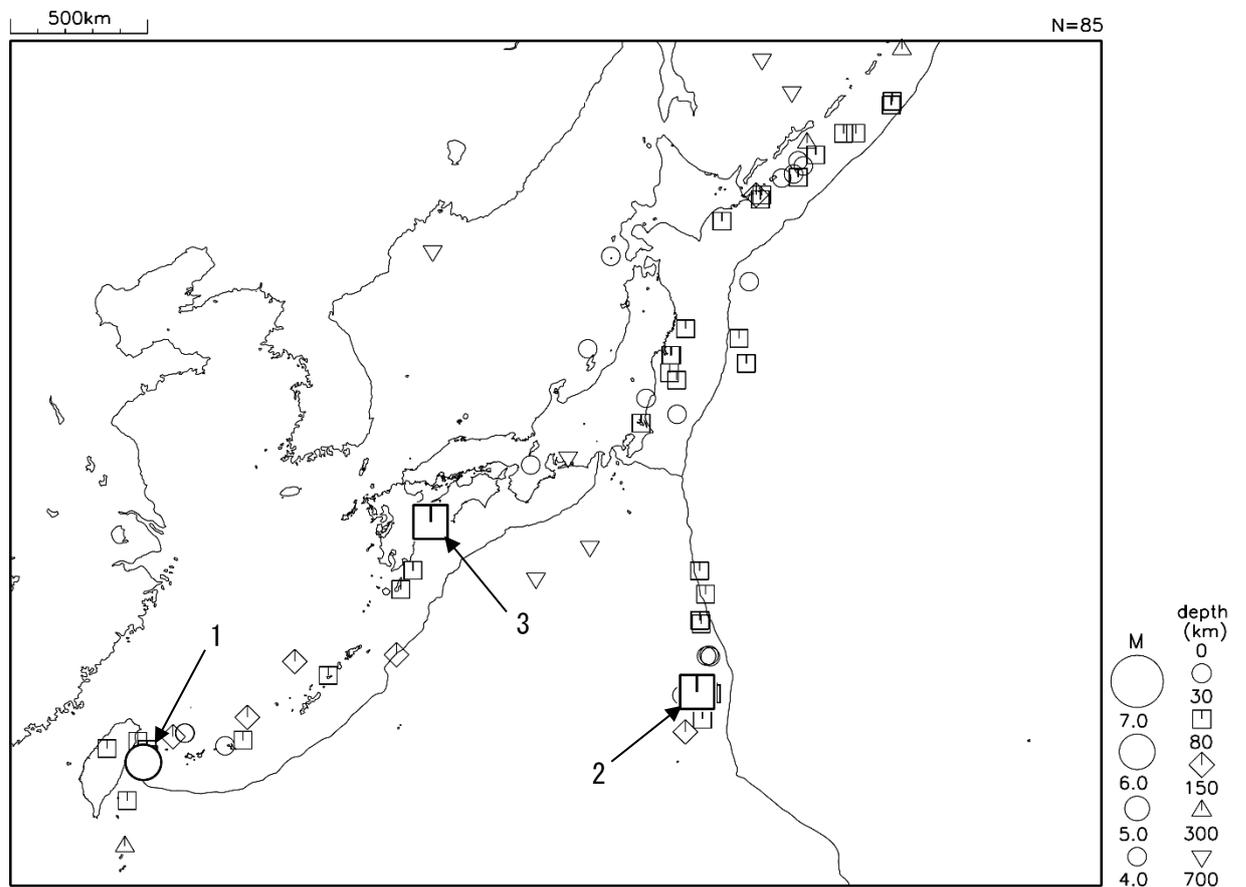


図3 令和4年1月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）